

■活動日時：2013年1月26日(土) 10:00~14:30

■参加者：社友神於山グリーンサポーター 11名

■活動内容：フクロウの巣箱降ろし。沢筋のモミジに掛かる雑木の伐採。シイタケの柵木の原木伐採・枝干し。
・計画では竹の間伐も行う予定でしたが、十分な成果を上げたことと、気温が朝1度、昼でも2度と低かったことから無理をせず、活動は2時半で終了しました。
・寒さに負けず活動頂いた11名の社友神於山グリーンサポーターの皆さん、お疲れ様でした。

■報告事項

- ・就活で忙しい中、今回の希望退職に応じられた元現役神於山グリーンサポーターの4名の方全員が、今度は社友神於山グリーンサポーターとして揃って参加してくれたのは、大変嬉しく、また心強いことでした。
- ・降ろしたフクロウの巣箱に痛みは全く無く、上面の窓開け等 加工し、塗装すれば問題なく使えそうです。2月9日のSGC活動で、新たに作った巣箱と共に再度神於山シャープの森に架設します。
- ・営巣してからの事です、昼の話題はもっぱらウェブカメラなど、フクロウの観察用機材と、2月9日から解禁になる内燃式ストーブの仕様の事で、特にフクロウの観察用機材では、カメラなどの機材で少なくとも5万円。これに電源を加えると10万円程度の予算が必要になるのではないかとというのが大方の意見でした。SGC、社友会両本部への期待大です。
- ・また、架設後の活動日以外の定期観察をどうするかなど、架設後の観察の仕組みも考える必要があります。
- ・いずれにせよ1月12日の営巣地見学でフクロウの営巣への期待が俄かに盛り上がっていますから、2月9日のSGC活動で予定している神於山シャープの森での「架設する木選び」と、色々工夫して作る「巣箱づくり」が今から楽しみです。

フクロウの巣箱おろし

2011年12月10日に架けた巣箱を降ろしました。



梯子を6m近く伸ばして作業。



降ろした巣箱

- ・架けて1年強経ちましたが、コンパネを使った巣箱は頑丈で傷みは殆どありません。
- ・下の写真の底の様子は、敷いた枯葉跡です。



- ・昼は、降ろした巣箱を前に、作った時の話や、どう改造するか、観察のためのウェブカメラシステムはどんなものが良いかなど、寒い中噂々譚々。
- ・1月12日のSGC活動で、金井さんが自前の赤外線カメラを持参され、システムの概要は判りましたが、電源をどうするかを含め、基本的な設計をしないと予算化も進まないというのが結論でした。



降ろした巣箱を中心に参加された11名の皆さん。寒い中お疲れ様でした。

沢筋のモミジに掛かるコナラの伐採



・今回伐ったのは、一番下の雑木（beforeの星印）で、更にその上から太い雑木（afterの星印）が被っています。

・写真1は、枝の被さり具合。左下から伸びているのがモミジ。右上から被さっているのが雑木で、秋には、モミジと同じく真っ赤に紅葉しますから多分ハゼではないかと思われる。

・伐採は、モミジの若葉が出る前の3月までにチェーンソーを使って行う予定です。

・写真2は、今回伐採した雑木。伐ってみて樹皮からコナラの様なので、シタケの櫛木にすることにし、現場近くで枝干しすることにしました。一石二鳥でラッキーでした。

シタケの櫛木の原木伐採・枝干し。

記念樹ゾーンと尾根道の境界に生えている自生のコナラの枝を伐採して確保。



横に長く伸びた3本の枝をターゲットに・・・順番に切り落とし・・・90cmの長さに切りそろえました。



寒さを吹き飛ばすため、手引きノコギリで奮闘・・・枝干しして終了。場所は秘密です。皆さんお疲れさまでした！

記念樹ゾーンに有った巨大ウンチ。

- ・多分イノシシの糞でしょうが、ウンチの上に参考に置いたボールペンと比較すると大きさや太さが判ると思います。
- ・他の場所でもあちこちに糞がありました。ここでは野兎のコロコロ糞も良く見かけますが、皆天然の肥料です。

